

【活動報告書】

1 活動名 ・ 2019年リニューアル後の来館状況や運営について

2 調査の目的

(1) 本市における課題

本市は1986年に「平和都市宣言」を行っており、文書館にて平和資料展示や平和記念式典など行っており、広島平和式典にも市内中学校の生徒が参加するなど平和事業を推進していますが、平和への意識が一部の人だけであったり、式典が形骸化してきつつあると感じられる。若者を中心に平和意識を広く高めていく必要があると思われる。

(2) 調査の必要性

本年、広島サミットにおいて、各国の首脳が訪れ話題となった「平和記念資料館」その後の来場者数や、訪れる人の実態を知り、本市における平和教育に必要な観点を探りたい

(3) 調査項目 2019年リニューアル後の来館者状況や運営状況に」について

3 調査地選定理由

- (1) 広島市 1945年世界で初めて原爆が投下された地であり、最もつらい体験をしてこられた広島の方々の平和への想い、行動を実際に見聞きし、またそこを訪れる人を知る中で、本市が平和への取り組みをいかにしていくかを学ぶことができる考えたため

4 調査結果

- (1) 実施日 令和5年10月24日

- (2) 出席者 4名 近藤晴彦、上條美智子、内田麻美、大久保美由紀

- (3) 広島市

- (4) 成果・所感等

コロナ禍を過ぎ、また本年のサミットを経て、過去最高の入場者を記録しているとのことで、実際に修学旅行生を中心に、海外の方が多く訪れているのが印象的でした。入場までに非常に時間がかかったり、人が多すぎて、展示内容をゆっくり見られない様子が見受けられたのは残念ではありましたが、現在の世界情勢を鑑みて平和を希求する高まりを感じました。

また、少し綺麗になりすぎた館内は以前に比べて、インパクトが薄く感じましたがやはり、人生の中で一度は訪れるべきと感じました。それも、できるだけ心が柔軟な若い世代が……。そういった意味では、本市の修学旅行先に広島がほとんどないこと危惧を感じます。広く平和思想を根付かせるためにも、県議会議員とも協業して、修学旅行選定における広島推進を進めて参りたいと思います。

5 政務活動費

- (1) 使途項目 調査旅費

- (2) 支出額 225,931円

【交通費 42,780円 宿泊費 13,140円】×4名

【お土産代 広島平和記念資料館へ 2,251円】